



ぎおんばら

平成30年12月21日発行

発行者：谷田部 二三子

目指す学校像

- 明るく活力のある学校
- 学び合う楽しい学校
- 一人一人が目標に向かって精一杯頑張る学校
- 保護者・地域と連携し、信頼される学校

今年も残りわずかとなりました。皆様にとってこの1年はどのような年でしたか？私は、この下野市、祇園小学校に来て、教職員、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様との新しい出会いがあり、その中で多くの恵みと新たな学びを得ることができ、充実した1年でした。ありがとうございました。どうぞ皆様よいお年をお迎えください。



一生懸命走り抜いた持久走大会

11月30日(金)、持久走大会が行われました。子どもたちは、この日のために、授業や業間体育の時間、一生懸命走って鍛えていました。また、休み時間や放課後などにも自主的に練習していた子もいました。

当日は抜けるような青空。子どもたちの走りを祝福してくれているようです。保護者や地域の方々もたくさん応援にきてくださいました。ありがとうございました。安全のためにポイントに立ってくださった保護者の皆様、ギオンジャーの皆様、ありがとうございました。車で通る方々も、協力してくださったと伺いました。ありがとうございました。多くの方に見守っていただき、全員、無事にゴールすることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちは、この行事を通して、苦しいけれど最後まで頑張る気持ち、友達を応援する気持ち、友達をはじめ多くの方から応援していただいている喜びなどを感じることができたことと思います。



私が見つけた「祇園小のここがステキ！！」⑨

地域の方との交流～1年生・生活科「むかしあそび」

12月11日(火)、1年生がグリーンクラブの方々から、けん玉・お手玉・あやとり・木ゴマ・紙で作ったブーメラン・ストロートンボ・羽根つきなどの昔あそびを教えていただきました。

わたしは、けんだまと木ごまをおしえていただきました。けんだまは、大きいのと小さいのがあって、ひざをまげてやるといいよ、木ごまはしっかりまいてやるといいよ、とおしえてもらったら、できました。



ぼくは、はねつきとストロートンボをおしえていただきました。そんなにたのしいあそびがあるって、びっくりしました。さいごの竹とんぼがすごかったです。

からだにきをつけて、げんきにすごしてください。

1年生は、地域の方との交流を通して、人の温かさも感じる事ができたようです。



アルミ缶回収へのご協力、ありがとうございました

持久走大会や授業参観に合わせてアルミ缶回収を行ったところ、多くのご家庭に協力していただき、たくさん集めることができました。ありがとうございました。2月の授業参観の週にも回収しますので、引き続きご協力をお願いします。



12/3～12/7 校内人権週間

1948年12月10日に国際連合において世界人権宣言が採択されたことから、日本では、この時期を「人権について考える週間」としています。今年は、ちょうど70周年の節目の年にあたるそうです。

本校では、12月11日に人権集会を行いました。人権教育主任から人権についての説明を聞いた後、人権擁護委員さんからの話を伺いました。ご自身が中学生の時にいじめにあった経験をもとに、「いじめを『しない・させない・許さない』強い気持ちをもって、いじめのない社会を作る。自分がされて嫌なことを人にしないことが、自分の人権を守ることにもつながる。」「やってしまったら、謝る。」といったお話をしてくださいました。その後、各自が考えた「私の行動宣言」の学年代表者による発表を聞き、全員で「いじめノックアウト!」を唱えました。「互いの気持ちを考えて行動しよう」という気持ちが高まる集会となりました。

今年度を振り返って～第4回学校運営協議会の主な内容 12月10日(月)

1 これまでの取組の成果と課題及び今後の活動について

- (1) スクールガードの現在の様子
- (2) キンボール、ソフトバレーボールの指導ボランティアの活動状況
- (3) 南河内第二中学区小・中合同クリーン活動の地域の方々への協力依頼について
 - ・ 地域の一員として参加して、小・中学生の関わりが微笑ましかった。一生懸命やる姿や中学生のリーダーシップなど、地域の方にもっと見ていただきたかった。
 - ・ 参加してくださった方が、「これまでやっていたのは知っていた。気になっていたの、今回、チラシを見て、参加することにした。」と話されていた。チラシを回覧してよかった。
 - ・ まだ1回目なので、参加者は少なかったが、事前に落ち葉を集めておいてくれた方や「ありがとう」と言ってくださった方など、関心をもってくれる方がいた。回を重ねるうちに参加者も増えてくるのではないかと。
- (4) 祇園小祭について
 - ・ 児童・保護者からアンケートをとった。それをもとに、次年度は、さらに楽しめるものにしていきたい。
- (5) ギオンジャーの活動状況
 - ・ 持久走大会への協力を行った。保護者以外に地域の方も応援に来られていた。車で通る方も協力的であった。



2 学校評価の結果について

※児童・保護者アンケートの結果と教職員による自己評価の結果を説明。

- ・ 「やってよいこと・やっていけないこと」や挨拶などは、本来、家庭や地域で教えることだと思う。何でも学校で…という意識を変えるべきではないか。
- ・ 「先生がほめてくれる」が高い。本人は嬉しいし、他の子はその様子を見て「あのようになりたい」と思う。それが学校という集団で学ぶ良さだと思う。
- ・ 「読書」が低い。家に面白いものがたくさんあるので、どう本に興味をもたせるかが課題だと思う。

3 その他

- (1) 先生の長時間労働について
 - ・ 小学校の6年間で人としての基礎がつけられる。先生が元気で余裕をもって教育できるようになってほしい。外部の力を取り入れて、自分の仕事を進める時間をつくるとよいのでは。
 - ・ 祇園小の働き方改革の取組は、現在のところ、会議の精選と終了時刻の設定、長期休業に研修を集中、行事の見直し、情報の共有の仕方の工夫、退勤時刻を早めるよう呼びかける等。